

あんなこと、こんなこと

関市イメージキャラクター
「関*はもみん」



11月1日～15日にあった
市内の話題を中心に
ご紹介します。

便利な生活道路が完成

富之保の県道大原富之保線の起点で進めていた「富之保バイパス」が完成し11月10日、関係者約80人が集まって完成式が開かれました。工事は、津保川に架かる武儀山崎橋を含む280m区間を整備。バイパス化による雨量規制区間の回避により、円滑な交通の確保を図りました。式典では、橋の銘板の文字を書いた武儀東小学校児童による銘板の取り付けや地元神楽保存会による神楽の奉納のほか、太鼓演奏、テープカット、渡り初め、餅まきをして完成を祝いました。



刃物のまちの社会見学

刃物に対する知識と愛着を深めようと、11月8日の「刃物の日」に合わせて、市内の刃物工場などを見学するバスツアーが開催され、参加した市民が地場産業にふれる体験をしました。包丁の製造工程がすべて自社で行われている工場では、研磨、ひずみ抜き、口金すり、仕上げ、刃付け、柄付けなどの各工程が紹介され、職人が手作業で包丁を製作していく様子を熱心に見入っていました。



刃物 3万 5000 本を供養

使い込まれて役目を終えた刃物製品を供養する恒例の「刃物供養祭」が11月8日、関鍛冶伝承館で行われ、寄せられた刃物に感謝の祈りを捧げました。全国約800箇所に設置された回収箱から、不用となった包丁やはさみなど約35,000本が集められました。供養を終えた刃物の多くは鋼材として生まれ変わるほか、災害支援用に備蓄されます。作り手と使い手がともに刃物に感謝し、大切さを広く伝えます。



市長マニフェスト優秀賞受賞

全国の首長や議員などの活動実績を表彰する「マニフェスト大賞」(同実行委員会主催)で、尾関健治 関市長の「日本一しあわせなまち、関市を創ろう。市民改革2011 未来の関市を、市民の皆さんの手で！」が11月2日、首長部門の優秀賞を受賞しました。マニフェストの主要項目を「市長マニフェスト推進計画」で具現化し、わかりやすく公表。進捗管理をし、外部評価を反映させる点などが特徴として評価されました。



待望のトンネル開通

美濃東部農道(郡上市美並町~恵那市間約23.0km)のうち、上之保行合戸丁から郡上市八幡町小那比をつなぐ「上之保小那比トンネル」が完成し11月6日、上之保側で開通式典があり、大勢の参加者で開通を祝いました。待望のトンネル開通に今後、農産物の流通、地域間の交流と活性化が期待されます。トンネルの銘板の文字を書いた地元生徒、地元関係者らが加わってテープカットし、供用を開始しました。



おやつの量や食べ方を学習

11月13日、安桜小学校で6年生を対象に、スナック菓子や食べ方について学ぶ食育授業「スナックスクール」が開かれました。食品製造販売会社の職員を講師に迎え、始めにポテトチップを普段自分たちがどのくらい食べているのかをはかりで確認。授業を通して、おやつを一度に食べる量や時間、おやつからの栄養摂取、商品の裏側に表示されている賞味期限と消費期限の違いなどを楽しく学習しました。



道路斜面に係る災害応援協力

関市は11月15日、県内の地形地質を研究し精通している岐阜県法面環境技術協会と、災害時に市が管理する道路斜面などに被害が発生した場合の応援協力に関する協定を締結しました。同協会の技術力を生かし、斜面などの被災状況の調査をし、市に対して応急復旧に関する技術的助言をしていただくものです。県内の市町村では初めての協定締結で、有事の際の迅速な復旧のため、備えを万全にしました。

こぼれ話

市民が丸となって盛り上げ、成功させた国体の開催を一過性で終わらせないようにするために、スポーツの振興はもとより、文化面や市民活動の充実も含めた次の目標として市長が「市民一人につき1生涯学習・1スポーツ・1ボランティア」を改めて提唱されました。今後、広報などでこれらを実践している市民の方を紹介したり、これから気軽に取り組むことができそうな講座や競技、取り組みなどを呼びかけていきたいと思っています。

そこで私が早速注目したのが、誰でも気軽にできる軽スポーツ「カローリング」です。先月、仲間に誘われて武儀生涯学習センターで開かれたカローリングジャパンカップに出場しました。ジェットローラーと呼ばれる円盤を相手チームと交互に投球し、ぶつけ合うなどしてポイントゾーンを中心に近く止めることで得点を競う、子どもから高齢者まで誰にでもできるスポーツとして人気があります。この日も、7~84歳の方が参加していました。私の成績は、残念ながら54チーム中40位・・・しかし、白熱した好ゲームの連続に会場は大興奮でした。「誰でも」楽しくできるのが魅力で、カローリングを知らないという方、ぜひこの面白さを体感してほしいと思います。こういった事が、市民の皆さんの健康づくり、体力づくりにつながるものと確信しています。

